



特別勘定マンスリーレポート

特別勘定の現況

ユニット・リンク(有期型)

ユニット・リンク保険(有期型)

リバティ(終身型)/リバティ(有期型)

変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

当資料は、変額保険(終身型および有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)における各特別勘定のユニット・プライスの推移を示したものです。なお、当資料中の運用実績に関するグラフ及び数値は、あくまで過去の実績であり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(注)変額保険(終身型)、変額保険(有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)は現在販売しておりません。

ユニット・リンク(有期型)

ユニット・リンク保険(有期型)

リバティ(終身型)/リバティ(有期型)

変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

特別勘定マンスリーレポート(2012年7月末)

【目次】

1. 特別勘定の運用概況	3P
2. 各特別勘定の運用状況	
日本株式型	6P
日本株式積極運用型	7P
米国株式型	8P
欧州株式型	9P
世界株式型(為替ヘッジなし)	10P
世界株式型(為替ヘッジあり)	11P
世界債券型	12P
金融市場型	13P
グローバル・バランス型	14P
3. 各特別勘定で投資している投資信託の運用状況	15P
4. 投資している投資信託の運用会社のご紹介	25P

『ご留意いただきたい事項』

■当資料の目的

当資料は、アクサ生命が「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です。特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

■生命保険です

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有しているわけではありません。

■運用実績に応じて変動します。

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、保険金額や積立金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて変動(増減)する生命保険で、保険期間中保険金額が一定の生命保険である定額保険とは異なります。

■元本割れリスク、最低保証について

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、特別勘定の運用実績に応じて、積立金、死亡・高度障害保険金、解約払戻金が増減する保険です。積立金、解約払戻金、満期保険金には最低保証はありませんので、払い込まれた保険料総額を下回ることもあります。ただし、死亡・高度障害保険金は基本保険金額と同額が保証されます。

■特別勘定資産と投資信託の運用実績について

特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり、投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用を控除していることなどによるものです。

■自己責任原則

特別勘定による資産運用は、経済情勢や運用のいかんによっては高い収益を期待できますが、一方で、株価の下落や金利や為替の変動による運用リスクをご契約者様ご自身が負うこととなります。

■ユニットプライスとは

ユニットプライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

■ご検討・ご契約に際して

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の詳細については、当該商品のパンフレット、ご契約のしおり・約款、特別勘定のしおり等をご覧ください。なお、ご契約の保障内容については、すべて保険証券に記載されているとおりになりますのでお確かめください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

■特別勘定は、追加されることがあります

特別勘定は、追加されることがあります。また、特別勘定の運用方針および運用対象は将来変更されることがあります。

■ご契約にかかわる諸費用

この保険にかかる費用には、ご契約の締結・維持、死亡保障等にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。お払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、お払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。

これらの費用は、性別・契約年齢・保険料払込期間・保険料払込方法等によって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。

これらの費用は、ご契約後、特別勘定資産からも定期的に控除されます。

(注)「変額保険(終身型)」、「変額保険(有期型)」および「ユニット・リンク保険(有期型)」は現在販売しておりません。

1. 特別勘定の運用概況

▶ 特別勘定の運用方針

日本株式型	主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX ^{※1})を上回る投資成果を目指します。
日本株式 積極運用型	主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
米国株式型	主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 S&P500指数 ^{※2} を上回る投資成果を目指します。
欧州株式型	主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCIヨーロッパ指数 ^{※3} を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジなし)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCI KOKUSAIインデックス ^{※4} を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジあり)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジを行います。 MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
世界債券型	主に内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。 NOMURA-BPI(総合) ^{※5} 50%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本) ^{※6} 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
金融市場型	主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。 NOMURA-BPI(総合短期) ^{※7} を上回る投資成果を目指します。
グローバル・ バランス型	主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。 MSCI WORLDインデックス ^{※8} 50%、シティグループ世界国債インデックス ^{※9} 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。

- ※1) 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部の時価総額の動きをあらわす指数で、東京証券取引所が算出、公表を行っています。
- ※2) S&P500指数とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が提供する米国株式市場の主要な500銘柄を対象に時価総額加重方式で計算した株価指数です。
- ※3) MSCIヨーロッパ指数とは、MSCIインクが提供する欧州株式を包括的に表した指数です。
- ※4) MSCI KOKUSAIインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を除く主要各国の株式を包括的に表した指数です。
- ※5) NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村證券株式会社が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。
- ※6) シティグループ世界国債インデックス(除く日本)とはシティグループ・グローバル・マーケッツが算出・公表している指数で、日本を除いた世界主要国の国債の総合利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。
- ※7) NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年~3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。
- ※8) MSCI WORLDインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。
- ※9) シティグループ世界国債インデックスとはシティグループ・グローバル・マーケッツが算出・公表している指数で、日本を含む世界主要国の国債の総合利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

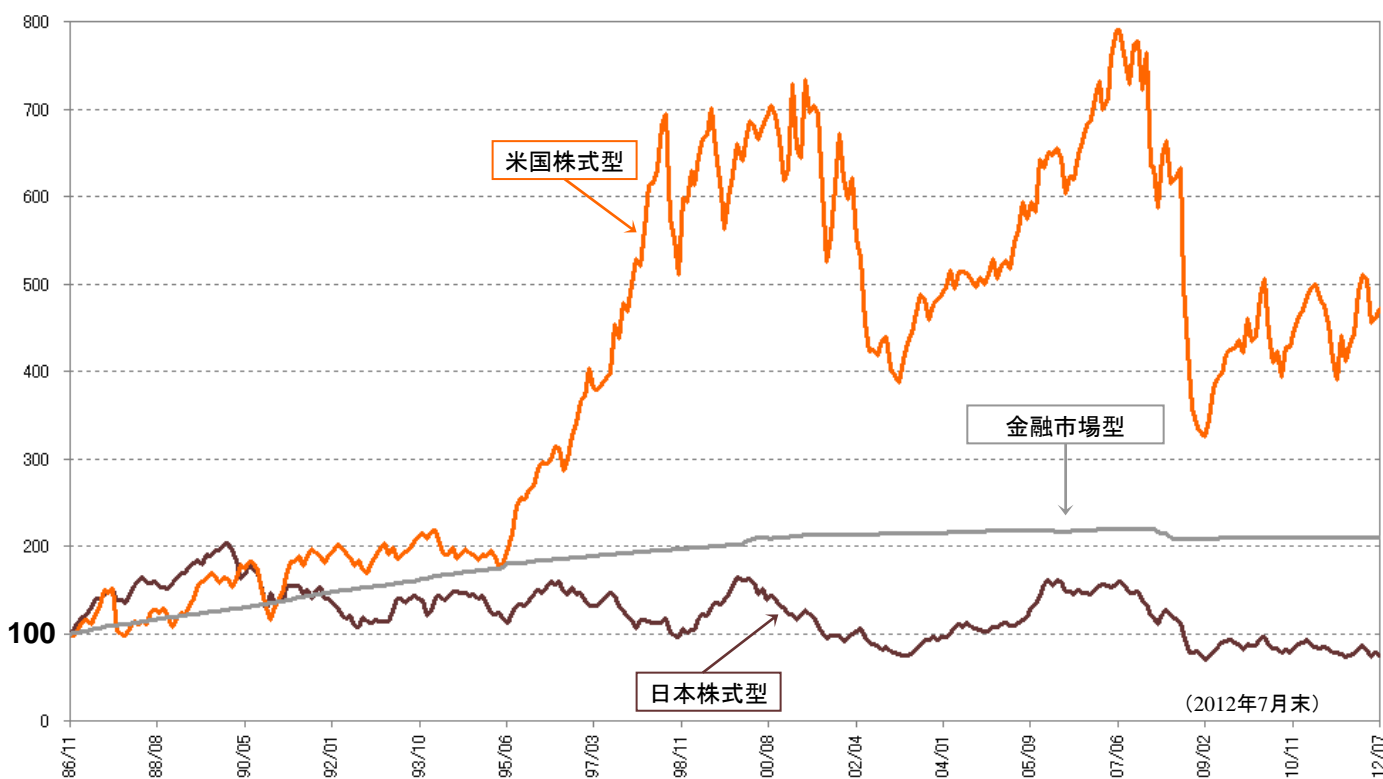
▶特別勘定のユニット・プライス騰落率一覧(2012年7月末現在)

特別勘定名	運用開始日	ユニット・プライス	騰落率						
			過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
日本株式型	1986年12月1日	75.10875798	▲4.04%	▲7.94%	▲1.83%	▲10.05%	▲17.47%	▲51.46%	▲24.89%
日本株式積極運用型	2001年5月1日	45.67972469	▲3.06%	▲7.35%	+0.21%	▲11.31%	▲15.64%	▲54.53%	▲54.32%
米国株式型	1986年12月1日	471.46274628	+2.49%	▲6.49%	+6.44%	+4.04%	+12.48%	▲37.46%	+371.46%
欧州株式型	1999年4月1日	83.22007666	+5.55%	▲7.20%	+3.13%	▲11.98%	▲8.44%	▲51.13%	▲16.78%
世界株式型(為替ヘッジなし)	2001年5月1日	84.45809434	+4.42%	▲6.37%	+6.45%	▲1.70%	+10.14%	▲37.39%	▲15.54%
世界株式型(為替ヘッジあり)	2001年5月1日	93.66532494	+5.49%	▲1.13%	+5.57%	+1.95%	+31.22%	▲7.77%	▲6.33%
世界債券型	1999年4月1日	124.66105801	+0.17%	▲1.52%	+2.46%	+2.53%	+2.38%	▲3.97%	+24.66%
金融市場型	1986年12月1日	210.53319084	+0.01%	+0.01%	+0.04%	+0.09%	+0.61%	▲4.27%	+110.53%
グローバル・バランス型	2001年5月1日	103.80783147	+1.86%	▲5.37%	+3.55%	▲0.70%	+1.64%	▲26.52%	+3.81%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点に「100」として数値化したものです。

▶特別勘定のユニット・プライス推移(2012年7月末現在)

- ◆1986年12月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移
(日本株式型/米国株式型/金融市場型)



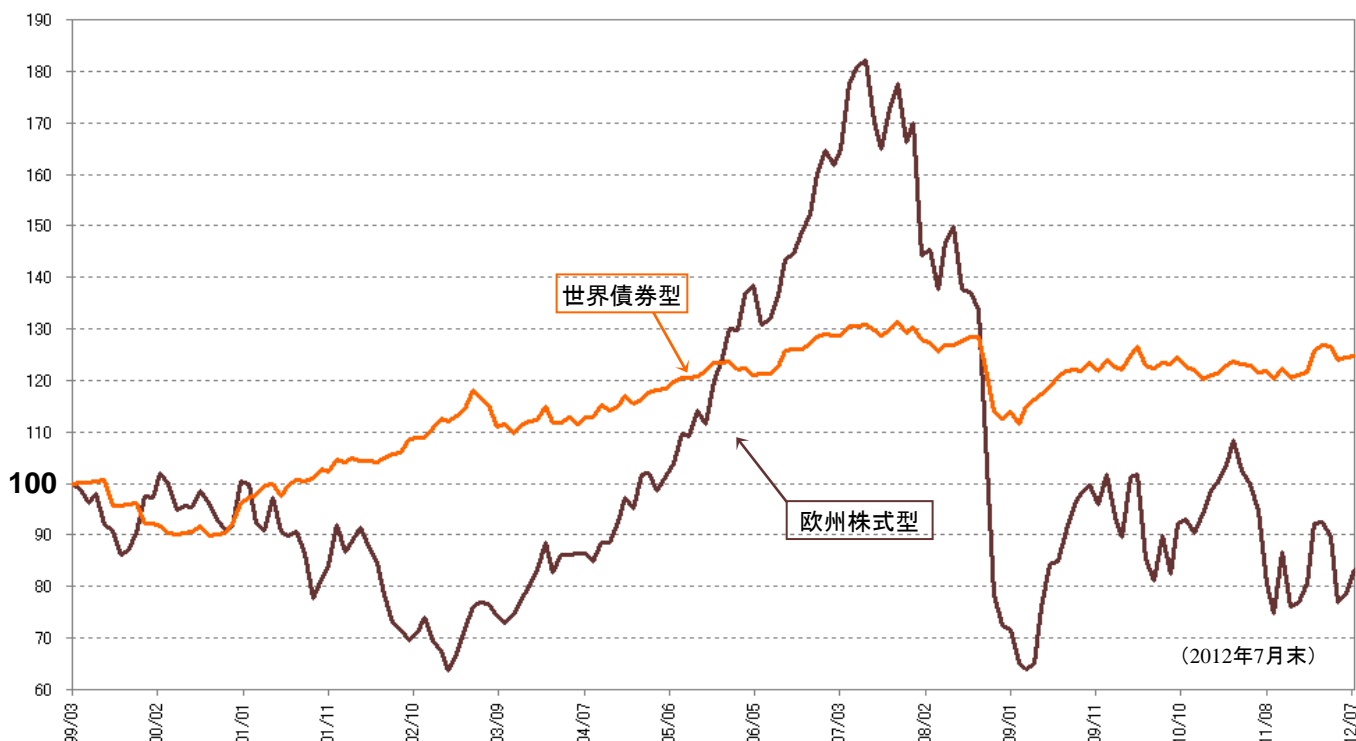
ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

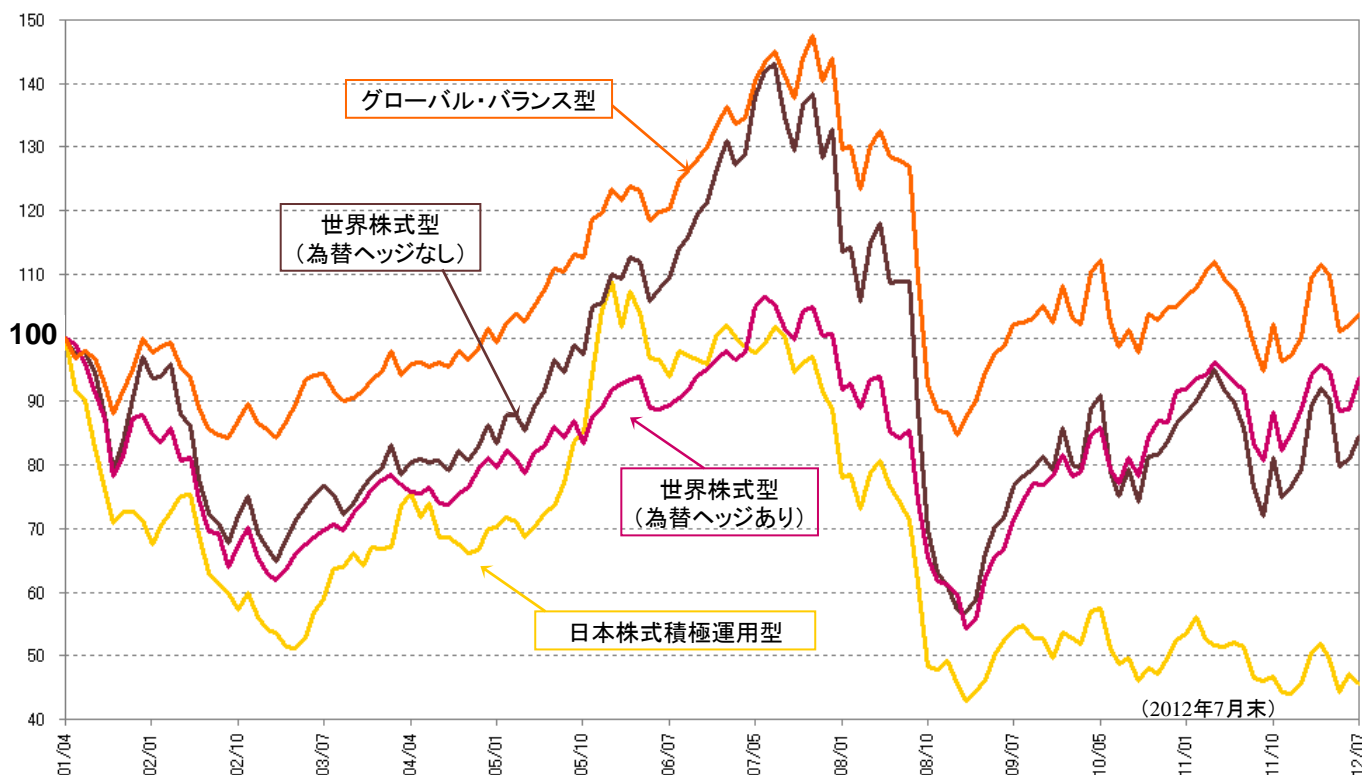
■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

◆1999年4月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(欧州株式型/世界債券型)



◆2001年5月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移
(日本株式積極運用型/世界株式型(為替ヘッジなし)/世界株式型(為替ヘッジあり)/グローバル・バランス型)



注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

2. 各特別勘定の運用状況

日本株式型特別勘定 運用状況 (2012年7月末現在)

運用方針

- 主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	14,073,127	99.6%
現預金・その他	56,719	0.4%
合計	14,129,846	100.0%

運用状況

2012年7月の国内株式市場は、TOPIX(配当込み)で4.38%下落しました。月前半は、6月の米雇用統計が軟調だったことに加え、スペイン国債の利回り上昇など欧州債務問題への警戒感などから下落しました。その後も、円高が進行したことを受けて、企業業績の先行きに対する不安が高まったことなどから下落しました。月後半は、ECB(欧州中央銀行)総裁のユーロ防衛に対する積極的な発言などを受け、買い戻されたものの、中旬までの下落を取り戻すには至りませんでした。このような市場環境の中、当特別勘定は4.04%下落しました。

現在、「ラッセル日本株式ファンドI-3」、「日本株バリュールマルチマネージャーファンド」および「アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド」へ投資を行っています。

7月は資金移動に合わせて「ラッセル日本株式ファンドI-3」の購入、および「日本株バリュールマルチマネージャーファンド」、「アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド」の一部売却を行いました。

8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
75.10875798	▲4.04%	▲7.94%	▲1.83%	▲10.05%	▲17.47%	▲51.46%	▲24.89%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点をも「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル日本株式ファンド I-3 (57.6%) : p15上段
日本株バリュールマルチマネージャーファンド (20.1%) : p15下段
アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド (21.9%) : p16上段
現預金・その他 (0.4%)

(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

日本株式積極運用型特別勘定 運用状況(2012年7月末現在)

運用方針

- 主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	1,038,220	99.5%
現預金・その他	5,734	0.5%
合計	1,043,953	100.0%

運用状況

2012年7月の国内株式市場は、TOPIX(配当込み)で4.38%下落しました。月前半は、6月の米雇用統計が軟調だったことに加え、スペイン国債の利回りに上昇など欧州債務問題への警戒感などから下落しました。その後も、円高が進行したことを受けて、企業業績の先行きに対する不安が高まったことなどから下落しました。月後半は、ECB(欧州中央銀行)総裁のユーロ防衛に対する積極的な発言などを受け、買い戻されたものの、中旬までの下落を取り戻すには至りませんでした。このような市場環境の中、当特別勘定は3.06%下落しました。

現在、「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3」および「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド」へ投資を行っています。

7月は資金移動に合わせて「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド」の購入、および「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3」の売買を行いました。

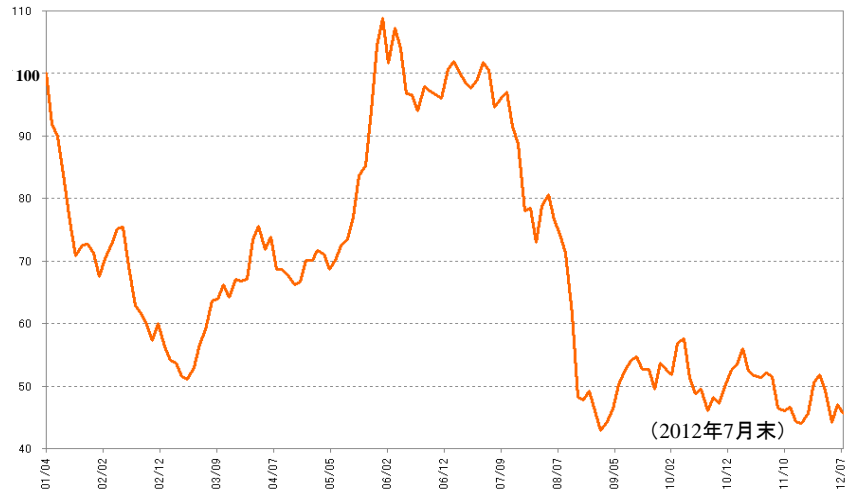
8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去5ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
45.67972469	▲3.06%	▲7.35%	+0.21%	▲11.31%	▲15.64%	▲54.53%	▲54.32%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (79.6%) : p16下段

ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド (19.9%) : p17上段

現預金・その他 (0.5%)

(注)「p16下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

米国株式型特別勘定 運用状況(2012年7月末現在)

運用方針

- 主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- S & P500指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	9,169,612	99.6%
現預金・その他	40,422	0.4%
合計	9,210,034	100.0%

運用状況

2012年7月の米国株式市場はMSCI US(現地通貨ベース)で1.36%上昇しました。前半は、6月の米雇用統計が市場予想を下回り、景気の先行き不透明感が強まったことに加え、南欧国債利回りの上昇などから下落する局面もありましたが、欧米共に金融緩和が期待されたことから値を戻しました。月後半は、南欧の国債利回りが一段と上昇したことなどを背景に再度下落しましたが、ECB総裁がユーロ防衛に対する積極的な姿勢を示したことなどから急反発しました。このような市場環境の中、当特別勘定は2.49%上昇しました。

現在、「RIC US Equity Fund」および「米国株式インデックスファンドVA」へ投資を行っています。

7月は資金移動に合わせて「米国株式インデックスファンドVA」の一部売却、および「RIC US Equity Fund」の購入を行いました。

8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
471.46274628	+2.49%	▲6.49%	+6.44%	+4.04%	+12.48%	▲37.46%	+371.46%

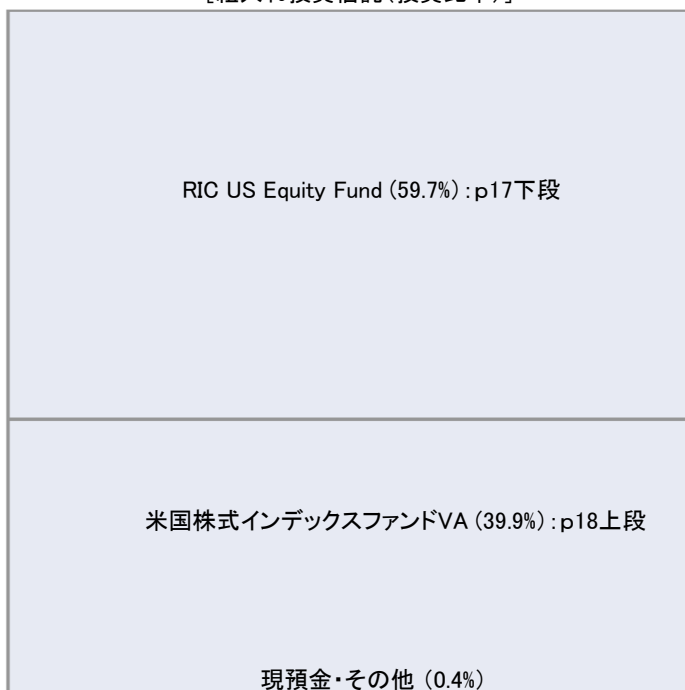
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p17下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

欧州株式型特別勘定 運用状況(2012年7月末現在)

運用方針

- 主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- MSCIヨーロッパ指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	2,266,035	99.7%
現預金・その他	7,439	0.3%
合計	2,273,474	100.0%

運用状況

2012年7月の欧州株式市場はMSCI Europe(現地通貨ベース)で2.86%上昇しました。月前半は、6月の米雇用統計が市場予想を下回り、景気の先行き不透明感が強まったことに加え、南欧国債利回りの上昇などから下落する局面もありましたが、欧米共に金融緩和が期待されたことから値を戻しました。月後半には、スペインの金融・財政問題への懸念が高まり大幅に下落する局面があったものの、ECBの追加金融緩和への期待や、ECB総裁のユーロ防衛に対する積極的な姿勢を好感し、大幅に上昇しました。このような市場環境の中、当特別勘定は5.55%上昇しました。

現在、「RIC II Pan European Equity Fund」および「フィデリティ・欧州株・ファンド」へ投資を行っています。

7月は資金移動に合わせて「RIC II Pan European Equity Fund」の一部売却、および「フィデリティ・欧州株・ファンド」の売買を行いました。

8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
83.22007666	+5.55%	▲7.20%	+3.13%	▲11.98%	▲8.44%	▲51.13%	▲16.78%

(注)ユニット・プライスは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1999年4月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

RIC II Pan European Equity Fund (58.0%) : p18下段
フィデリティ・欧州株・ファンド (41.6%) : p19上段
現預金・その他 (0.3%)

(注)「p18下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定 運用状況(2012年7月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- MSCI KOKUSAIインデックスを上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	1,304,231	99.6%
現預金・その他	5,860	0.4%
合計	1,310,091	100.0%

運用状況

2012年7月の世界株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で1.95%上昇しました。米国・欧州株式市場とも、月前半は、6月の米雇用統計が市場予想を下回り、景気の先行き不透明感が強まったことに加え、南欧国債利回りの上昇などから下落する局面もありましたが、金融緩和が期待されたことから値を戻しました。月後半は、スペインの金融・財政問題への懸念が高まり南欧の国債利回りが一段と上昇したことなどを背景に再度下落しましたが、ECB総裁がユーロ防衛に対する積極的な姿勢を示したことなどから大幅に上昇しました。このような市場環境の中、当特別勘定は4.42%上昇しました。

現在、「ラッセル外国株式ファンドI-4B」および「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)」へ投資を行っています。

7月は資金移動に合わせて「ラッセル外国株式ファンドI-4B」の購入、および「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)」の一部売却を行いました。

8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

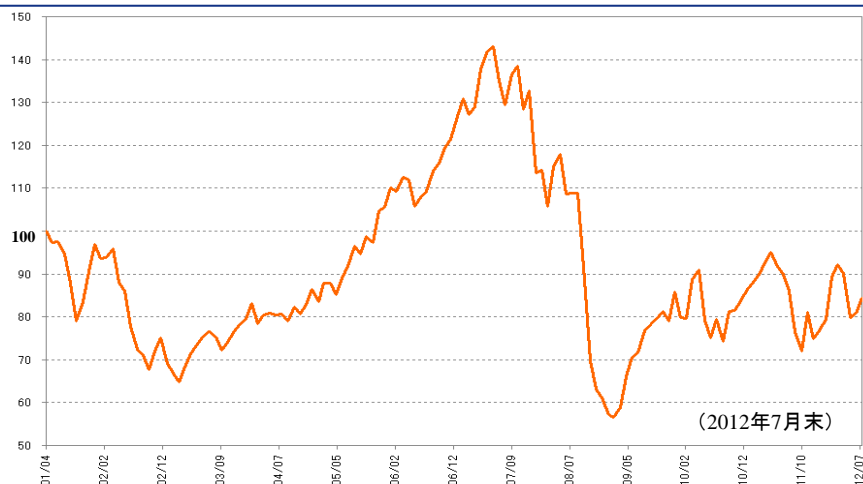
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
84.45809434	+4.42%	▲6.37%	+6.45%	▲1.70%	+10.14%	▲37.99%	▲15.54%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル外国株式ファンドI-4B (79.8%) : p19下段
年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし) (19.8%) : p20上段
現預金・その他 (0.4%)

(注)「p19下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定 運用状況(2012年7月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジを行います。
- MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	524,819	99.6%
現預金・その他	2,355	0.4%
合計	527,174	100.0%

運用状況

2012年7月の世界株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で1.95%上昇しました。米国・欧州株式市場とも、月前半は、6月の米雇用統計が市場予想を下回り、景気の先行き不透明感が強まったことに加え、南欧国債利回りの上昇などから下落する局面もありましたが、金融緩和が期待されたことから値を戻しました。月後半は、スペインの金融・財政問題への懸念が高まり南欧の国債利回りが一段と上昇したことなどを背景に再度下落しましたが、ECB総裁がユーロ防衛に対する積極的な姿勢を示したことなどから大幅に上昇しました。このような市場環境の中、当特別勘定は5.49%上昇しました。

現在、「ラッセル外国株式ファンドI-4A」および「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)」へ投資を行っています。

7月は資金移動に合わせて「ラッセル外国株式ファンドI-4A」の購入、および「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)」の一部売却を行いました。

8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

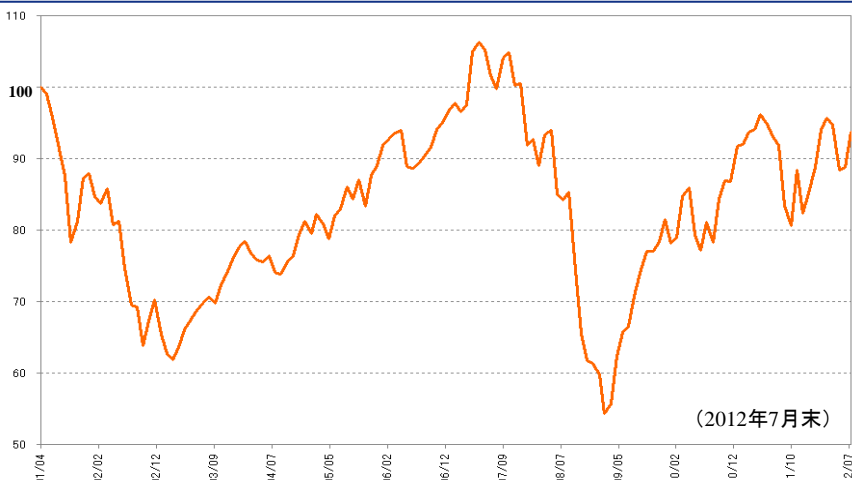
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
93.66532494	+5.49%	▲1.13%	+5.57%	+1.95%	+31.22%	▲7.77%	▲6.33%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p20下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

世界債券型特別勘定 運用状況(2012年7月末現在)

運用方針

- 主に国内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。
- 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。
- NOMURA-BPI(総合)50%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	7,897,699	99.7%
現預金・その他	26,357	0.3%
合計	7,924,056	100.0%

運用状況

2012年7月の世界債券市場はCitigroup WGBI(現地通貨ベース)で1.02%上昇しました。米国債券市場は、月前半は、6月の米雇用統計が軟調であったことやスペイン財政問題の深刻化などを背景に、長期金利は低下(価格は上昇)しました。月後半は、南欧の国債利回りが大幅に上昇し、安全資産として米国債券が選好されたほか、米国の金融緩和期待が高まったことなどから金利は一段と低下(価格は上昇)しました。月末にかけて、ECB総裁のユーロ防衛に対する積極的な姿勢などから上昇(価格は下落)に転じました。欧州債券市場も、ほぼ米国同様の動きとなり、スペイン財政問題の深刻化や欧州債務問題の政策対応への疑念などによるリスク回避の動きの強まりから低下(価格は上昇)しました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.17%上昇しました。

現在、「RIC Global Bond Fund」、「ラッセル日本債券ファンドI-1」および「グローバル・ボンド・ファンドVA」へ投資を行っています。

7月は資金移動に合わせて「RIC Global Bond Fund」「グローバル・ボンド・ファンドVA」の購入、および「ラッセル日本債券ファンドI-1」の一部売却を行いました。

8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

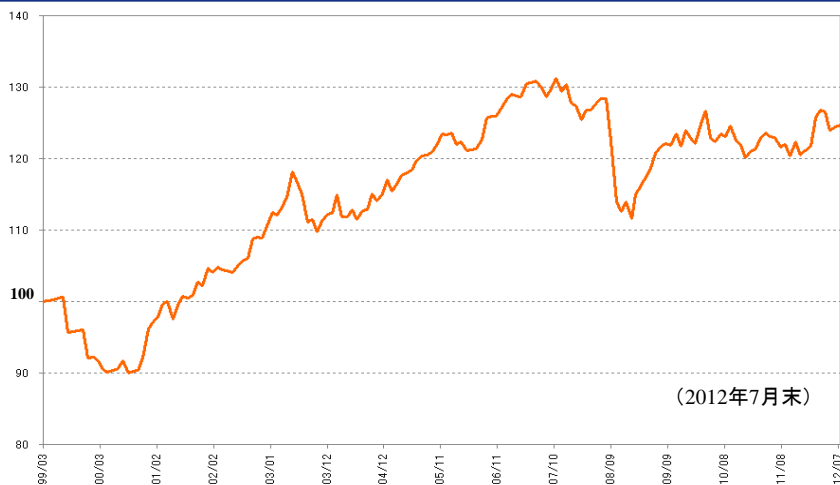
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
124.66105801	+0.17%	▲1.52%	+2.46%	+2.53%	+2.98%	▲3.97%	+24.66%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(100)として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1999年4月1日)



ポートフォリオの状況

[基本配分]

海外公社債 50%
国内公社債 50%

[組入れ投資信託(投資比率)]

RIC Global Bond Fund (39.0%) : p22下段
グローバル・ボンド・ファンドVA (19.8%) : p23上段
ラッセル日本債券ファンドI-1 (40.9%) : p23下段
現預金・その他 (0.3%)

(注)「p22下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

金融市場型特別勘定 運用状況 (2012年7月末現在)

運用方針

- 主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。
- NOMURA-BPI(総合短期)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	8,310,581	99.7%
現預金・その他	28,284	0.3%
合計	8,338,864	100.0%

運用状況

2012年7月の国内債券市場はNOMURA-BPI(総合)で0.37%上昇しました。日本債券市場は、月前半は、6月の米雇用統計が軟調だったことなどから世界経済の先行き不透明感が強まり、また金融政策決定会合で、日銀による更なる追加金融緩和の可能性を残したことなどから、長期金利は低下(価格は上昇)しました。月後半は、スペインの金融・財政問題への懸念が高まり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどからさらに金利は低下しました。しかしその後、欧州債務問題に向けた対応が強化されるとの見方が強まったことなどをきっかけに、月末にかけてやや上昇(価格は下落)しました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.01%上昇しました。

現在、「フィデリティ・マネー・プールVA」へ投資を行っています。

7月は資金移動に合わせて、「フィデリティ・マネー・プールVA」の一部売却を行いました。

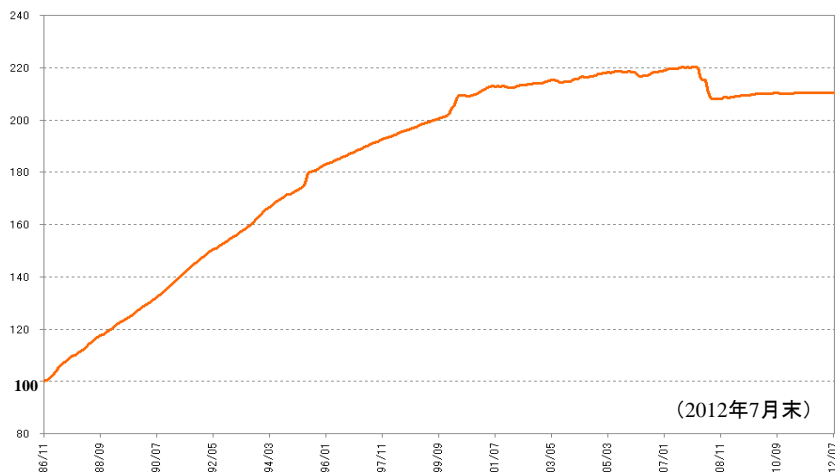
8月についても、このファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドの入れ替えなどについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去5ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
210.53319084	+0.01%	+0.01%	+0.04%	+0.09%	+0.61%	▲4.27%	+110.53%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p24上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

グローバル・バランス型特別勘定 運用状況 (2012年7月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。
- 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。
- MSCI WORLDインデックス50%、シティグループ世界国債インデックス50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	15,560,473	99.8%
現預金・その他	38,012	0.2%
合計	15,598,485	100.0%

運用状況

2012年7月のグローバル株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で1.95%上昇しました。グローバル債券市場はCitigroup WGBI(現地通貨ベース)で1.02%上昇しました。米国・欧州株式市場とも、前半は、軟調な米雇用統計などから下落しましたが、金融緩和が期待されたことなどから値を戻しました。月後半は、南欧の国債利回りの大幅な上昇などを背景に再度下落しましたが、ECB総裁がユーロ防衛に対する積極的な姿勢を示したことなどから上昇しました。米国・欧州債券市場とも、前半は、軟調な米雇用統計やスペイン財政問題の深刻化などを背景に、長期金利は低下(価格は上昇)しました。月後半は、南欧の国債利回りが上昇したことなどから金利は一段と低下(価格は上昇)しましたが、月末にかけては、ECB総裁の発言などから上昇(価格は下落)に転じました。このような市場環境の中、当特別勘定は1.86%上昇しました。

現在、「RIC Global Bond Fund」、「RIC II World Equity Fund」、「グローバル成長株ファンド」および「グローバル・ボンド・ファンドVA」へ投資を行っています。

7月は資金移動に合わせて、「グローバル・ボンド・ファンドVA」、「RIC Global Bond Fund」、「グローバル成長株ファンド」の購入、および「RIC II World Equity Fund」の一部売却を行いました。

8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

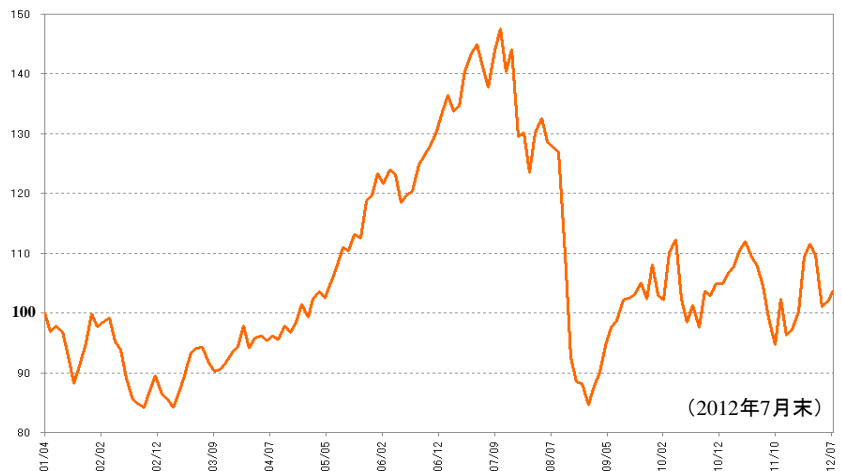
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
103.80783147	+1.86%	▲5.37%	+3.55%	▲0.70%	+1.64%	▲26.52%	+3.81%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[基本配分]

国内外株式 50%
国内外公社債 50%

[組入れ投資信託(投資比率)]

RIC II World Equity Fund (30.3%) : p21下段
グローバル成長株ファンド (20.3%) : p22上段
RIC Global Bond Fund (29.7%) : p22下段
グローバル・ボンド・ファンドVA (19.4%) : p23上段
現預金・その他 (0.2%)

(注)「p21下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

3.各特別勘定で投資している投資信託の運用状況

(投資信託名)ラッセル日本株式ファンド I-3

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆国内の証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(TOPIX・配当込)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況 (2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲4.30%	▲4.38%
過去3ヵ月	▲8.70%	▲8.32%
過去6ヵ月	▲2.17%	▲1.30%
過去1年	▲11.70%	▲10.38%
過去3年	▲19.77%	▲17.51%
設定来	▲5.90%	▲6.95%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在)

[設定日:2002年9月30日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2012年7月末現在)

■組入上位10業種

業種	比率
銀行業	12.1%
電気機器	10.1%
輸送用機器	9.6%
情報・通信業	8.7%
卸売業	8.7%
小売業	6.1%
化学	5.9%
医薬品	3.5%
機械	3.4%
その他金融業	3.1%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率①
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.4%
トヨタ自動車	輸送用機器	3.0%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.9%
日本電信電話	情報・通信業	2.7%
日産自動車	輸送用機器	2.0%
オックス	その他金融業	1.8%
三井物産	卸売業	1.8%
三菱商事	卸売業	1.7%
エヌ・ティ・ビー・エヌ	情報・通信業	1.6%
東日本旅客鉄道	陸運業	1.4%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
RIS(シネア・バリュー-ISP)	バリュー型	10%
ゼブラ	バリュー型	20%
アライアンス・パートナーズ	バリュー型	20%
ファンネックス	マーケット・オリエンテッド型	25%
三井住友信託	クローズ型	25%

- ①比率は国内株式評価額合計に占める割合
②キャッシュ・エクイタイズーション(流動資金の株式化)部分等を除きます。

* ISP: Investment Strategy Portfolio

(投資信託名)日本株バリューマルチマネージャーファンド

(運用会社)新光投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の株式の中から割安とされる銘柄に投資します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「バリュー1号マザーファンド」および「バリュー2号マザーファンド」を主要投資対象とします。各マザーファンドの投資配分の決定にあたっては、HCアセットマネジメントの助言を受けます。
- ◆株式の運用指図に関する権限については、バリュー1号マザーファンドはラザード・ジャパン・アセット・マネジメント株式会社に、バリュー2号マザーファンドは Advisory Research, Inc. にそれぞれ委託しています。

(出所)新光投信株式会社

ファンドの騰落状況 (2012年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	▲3.19%
過去3ヵ月	▲7.40%
過去6ヵ月	▲1.44%
過去1年	▲11.19%
過去3年	▲17.75%
設定来	▲23.31%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在)

[設定日:2003年11月20日]



ポートフォリオの状況(2012年7月末現在)

■マザーファンド組入比率

マザーファンド	比率
バリュー1号マザーファンド	48.79%
バリュー2号マザーファンド	50.63%

※組入上位5業種および組入上位5銘柄の比率は各マザーファンドの株式組入比率全体を100%とした比率です。

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	15.1%
銀行業	13.8%
建設業	8.5%
化学	8.4%
小売業	7.0%

バリュー1号マザーファンド

バリュー2号マザーファンド

業種	比率
電気機器	15.4%
卸売業	14.5%
化学	12.2%
銀行業	9.2%
その他製品	6.0%

■株式組入上位5銘柄

銘柄	比率
みずほフィナンシャルG	5.7%
三菱UFJフィナンシャルG	4.8%
日立製作所	4.3%
大和ハウス工業	3.6%
JXホールディングス	3.3%

銘柄	比率
スルガ銀行	3.4%
ドウシャ	3.2%
オートバックスセブン	3.1%
ジョーホントールディングス	3.1%
アズビル	3.0%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆企業の資産価値や収益力等から算出される投資価値と比較した株価の割安度(バリュウ)に着目した銘柄選択を行い、更に株主価値の増大を図る余力があると思われる銘柄を厳選し投資します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「アムンディ・ターゲット・ジャパン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	▲4.21%
過去3ヵ月	▲6.49%
過去6ヵ月	▲1.13%
過去1年	▲3.71%
過去3年	▲12.21%
設定来	+32.65%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在) [設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2012年7月末現在)

■市場別構成比率

市場	比率
東京一部	87.1%
東京二部	3.2%
JASDAQ	0.8%
その他市場	4.6%
現金・その他	4.4%
合計	100.0%

※構成比はマザーファンドの対純資産総額に対する比率をいいます。

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	19.0%
機械	15.0%
化学	9.8%
情報・通信業	7.5%
建設業	5.8%
医薬品	4.8%
卸売業	4.7%
金属製品	4.4%
銀行業	4.4%
繊維製品	3.1%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
マブチモーター	電気機器	2.3%
日本新薬	医薬品	2.2%
積水樹脂	化学	2.1%
日本デンタル研究所	電気機器	2.1%
アマダ	機械	2.1%
鹿児島銀行	銀行業	2.0%
フジメディア・ホールディングス	情報・通信業	2.0%
日阪製作所	機械	2.0%
長府製作所	金属製品	2.0%
アmano	機械	2.0%

(出所)アムンディ・ジャパン株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆TOPIX(配当込)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・日本成長株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲3.00%	▲4.38%
過去3ヵ月	▲7.32%	▲8.32%
過去6ヵ月	▲0.07%	▲1.30%
過去1年	▲12.38%	▲10.38%
過去3年	▲15.46%	▲17.51%
設定来	▲13.25%	▲17.87%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在) [設定日:2001年11月29日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■市場構成比率
(2012年6月末現在)

市場	比率
東証1部	88.2%
東証2部	0.1%
シヤスタック	1.1%
その他市場	7.3%

■組入上位5業種
(2012年6月末現在)

業種	比率
電気機器	12.7%
輸送用機器	11.2%
卸売業	7.8%
銀行業	7.4%
機械	6.1%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■株式組入上位10銘柄(2012年6月末現在)

銘柄	業種	比率
ミサグループ本社	卸売業	3.3%
トヨタ自動車	輸送用機器	3.3%
オリックス	その他金融業	3.0%
本田技研工業	輸送用機器	2.8%
日東電工	化学	2.4%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.4%
日立金属	鉄鋼	2.0%
ヤマハ	輸送用機器	2.0%
任天堂	その他製品	2.0%
大和工業	鉄鋼	1.9%

(出所)フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所(これに準ずるものを含む)に上場されている株式に投資を行います。
- ◆組入銘柄の選択に当たっては、企業のファンダメンタルズ分析を重視し、成長性と株価を相対評価して行います。また、変革を実行できる企業と経営者、利益成長の源泉が明確な企業に焦点を当て、企業訪問を重ね丹念に調査し、徹底した銘柄選択で運用します。
- ◆特定の株価指数(東証株価指数、日経平均株価など)にとらわれず運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ピクテ投信投資顧問株式会社

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	▲3.35%
過去3ヵ月	▲7.79%
過去6ヵ月	+1.23%
過去1年	▲10.18%
過去3年	▲16.45%
設定来	▲18.63%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在)

[設定日:2002年5月30日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2012年7月末現在)

■市場別上位組入比率

市場	比率
東証1部	88.8%
ジャスダック	4.3%
大証1部	3.0%
東証REIT	2.3%
名証1部	0.5%

■組入上位5業種

業種	比率
輸送用機器	12.4%
化学	12.2%
銀行業	10.1%
卸売業	9.8%
電気機器	9.5%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
トヨタ自動車	輸送用機器	4.8%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.0%
三菱地所	不動産業	2.5%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.3%
東京海上ホールディングス	保険業	2.2%
三井住友トラスト・ホールディングス	銀行業	1.8%
日産自動車	輸送用機器	1.8%
本田技研工業	輸送用機器	1.7%
東芝プラントシステム	建設業	1.7%
三井物産	卸売業	1.7%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆米国の大型株を主要投資対象とし、ベンチマーク(Russell 1000 Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用し、分散化を図ることで、ベンチマークと同程度のリスクになるようコントロールします。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

(出所)Russell Investments Limited.

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+0.58%	+1.15%
過去3ヵ月	▲4.14%	▲1.55%
過去6ヵ月	+2.51%	+5.21%
過去1年	+2.58%	+7.28%
過去3年	+36.04%	+46.55%
設定来	+37.09%	+75.35%

基準価額の推移(2012年7月末現在)

[設定日:1998年1月2日]



※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

■株式組入上位10銘柄(2012年7月末現在)

銘柄	業種	比率
Apple, Inc.	テクノロジー	30%
Pfizer, Inc.	ヘルスケア	2.7%
Microsoft Corp.	テクノロジー	2.3%
Exxon Mobil Corp.	エネルギー	2.0%
TIME WARNER INC	一般消費財	1.9%
JPMorgan Chase&Co.	金融サービス	1.9%
Google, Inc.	テクノロジー	1.6%
MetLife, Inc.	金融サービス	1.3%
Johnson Controls, Inc.	一般消費財	1.3%
Qualcomm, Inc.	テクノロジー	1.3%

■外部委託会社(2012年7月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
Suffolk Capital Management	マーケット・オリエンテッド型	11.0%
Institutional Capital Corporation	バリュー型	20.0%
Columbus Circle	グローブ型	16.0%
Cornerstone	グローブ型	10.0%
Pzena	バリュー型	6.0%
Levin	マーケット・オリエンテッド型	10.0%
Ceredex	バリュー型	17.0%
HS Management	グローブ型	6.0%
RIS	パッシブ(Index)運用	4.0%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆S & P500種株価指数(円ベース)に連動した投資成果を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「米国株式インデックスマザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+2.84%	+2.73%
過去3ヵ月	▲4.35%	▲4.73%
過去6ヵ月	+8.83%	+7.98%
過去1年	+8.72%	+6.94%
過去3年	+20.42%	+14.95%
設定来	+9.58%	▲5.96%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在) [設定日:2003年11月21日]



ポートフォリオの状況(2012年7月末現在)

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
APPLE COMPUTER INC	テクノロジー・ハードウェア	4.38%
EXXON MOBIL CORP	エネルギー	3.22%
INTL BUSINESS MACHINES CORP	ソフトウェア・サービス	1.79%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	1.74%
GENERAL ELECTRIC CO.	資本金	1.73%
AT&T INC	電気通信サービス	1.73%
CHEVRON CORP	エネルギー	1.71%
JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー	1.50%
COCA-COLA CO/THE	食品・飲料・タバコ	1.44%
PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	1.41%

※比率は対純資産総額比率をいいます。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆欧州株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI Europe Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用するとともに、国別配分やセクター配分、規模別配分はベンチマークから大きく乖離しないようにコントロールし、主に銘柄選択により超過収益の獲得を目指します。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍のユーロ建投資信託です。

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+4.93%	+4.30%
過去3ヵ月	+3.59%	+2.66%
過去6ヵ月	+6.99%	+4.98%
過去1年	+2.08%	+1.54%
過去3年	+30.02%	+25.74%
設定来	▲13.43%	▲1.12%

※騰落状況はユーロベースで計算しており、基準価額の推移もユーロベースで表記しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在) [設定日:2000年11月14日]



ポートフォリオの状況

■株式組入上位10銘柄(2012年7月末現在)

銘柄	国名	業種	比率
Vodafone Group PLC	イギリス	通信サービス	2.6%
Roche Holding AG	スイス	ヘルスケア	1.9%
British American Tobacco	イギリス	生活必需品	1.8%
Total SA	フランス	エネルギー	1.6%
Nestle SA	スイス	生活必需品	1.6%
Bayer AG	ドイツ	ヘルスケア	1.5%
BP PLC	イギリス	エネルギー	1.3%
ING Groep NV	オランダ	金融	1.3%
ENI Sp.A	イタリア	エネルギー	1.3%
BNP Paribas	フランス	金融	1.3%

■外部委託会社(2012年7月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
Numeric	バリュー型	22.5%
THS	グロース型	10.0%
TT International	グロース型	15.0%
Hermes Sourcecap	グロース型	15.0%
Pzena	バリュー型	15.0%
SW Mitchell	グロース型	12.5%
Risk Management Portfolio	マーケット/リテネット型	10.0%

(出所)Russell Investments Limited.

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆英国および欧州大陸の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆個別企業分析により、優良企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、フィデリティ・グループの欧州および世界主要金融拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆MSCIヨーロッパ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)をベンチマークとします。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・欧州株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)フィデリティ投信株式会社

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+6.02%	▲1.00%
過去3ヵ月	▲8.08%	▲7.49%
過去6ヵ月	+1.92%	+1.90%
過去1年	▲13.43%	▲10.93%
過去3年	▲9.92%	▲8.13%
設定来	▲1.98%	▲9.62%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在)

[設定日:1998年4月1日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■組入上位5カ国
(2012年6月末現在)

国名	比率
イギリス	23.1%
ドイツ	15.2%
スイス	13.3%
フランス	10.1%
スペイン	7.5%

■組入上位5業種
(2012年6月末現在)

業種	比率
食品・飲料・タバコ	11.7%
エネルギー	9.6%
医薬品・バイオテクノロジー	9.2%
ジー・ライフサイエンス	6.9%
資本財	6.9%
メディア	6.5%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■株式組入上位10銘柄(2012年6月末現在)

銘柄	国名	業種	比率
INDITEX SA	スペイン	小売	3.6%
NESTLE SA (REG)	スイス	食品・飲料・タバコ	3.5%
VODAFONE GROUP PLC	イギリス	電気通信サービス	3.3%
ROCHE HDGS GENUSSCHEIN	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライガエリス	3.2%
BG GROUP PLC	イギリス	エネルギー	3.1%
SANOFI	フランス	医薬品・バイオテクノロジー・ライガエリス	2.7%
NOVO NORDISK AS GL B	デンマーク	医薬品・バイオテクノロジー・ライガエリス	2.6%
BRITISH AMERICAN TOBACCO ORD	イギリス	食品・飲料・タバコ	2.6%
ALLIANZ SE	ドイツ	保険	2.5%
UBS AG-REGISTERED	スイス	各種金融	2.4%

(投資信託名)ラッセル外国株式ファンド I-4B

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+4.68%	▲0.48%
過去3ヵ月	▲6.58%	▲4.32%
過去6ヵ月	+6.76%	+5.62%
過去1年	▲1.92%	+0.94%
過去3年	+12.32%	+9.50%
設定来	+18.08%	+21.63%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在)

[設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2012年7月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	60.5%
ユーロ地域	18.9%
ユーロ除く欧州	18.0%
その他	2.7%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
VISA INC-CLASS A	USD	2.0%
Nestle SA	CHF	2.0%
Apple, Inc.	USD	1.5%
National Oilwell Varco, Inc.	USD	1.4%
Intel Corp.	USD	1.3%
Diageo PLC	GBP	1.3%
Groupe Danone	EUR	1.3%
STARWOOD HOTELS	USD	1.3%
Linde AG	EUR	1.3%
Philip Morris International Inc.	USD	1.1%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マッキンリー	グロース型	15.0%
SGA	グロース型	15.0%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30.0%
アローストリート	マーケット・オリエンテッド型	25.0%
ハリス	バリュー型	15.0%

①比率は外国株式評価額合計に占める割合
②キャッシュ・エクイティセーション(流動資金の株式化)部分を除く。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+3.67%	+3.67%
過去3ヵ月	▲5.63%	▲6.30%
過去6ヵ月	+5.45%	+4.28%
過去1年	▲1.02%	▲2.94%
過去3年	+6.56%	+1.46%
設定来	▲3.69%	▲13.42%

基準価額の推移(2012年7月末現在) [設定日:2001年10月17日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2012年7月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	58.42%
イギリス	10.08%
カナダ	5.26%
スイス	4.07%
オーストラリア	3.99%
フランス	3.81%
ドイツ	3.53%
スウェーデン	1.39%
香港	1.23%
オランダ	1.23%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
APPLE COMPUTER INC	アメリカ	2.48%
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	1.84%
MICROSOFT CORP	アメリカ	1.01%
AT&T INC	アメリカ	0.99%
GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカ	0.98%
CHEVRON CORP	アメリカ	0.97%
INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	0.97%
NESTLE SA-REG	スイス	0.90%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.85%
PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	0.80%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

(投資信託名)ラッセル外国株式ファンド I-4A

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み、円ヘッジ・円ベース)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエントド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジを行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+5.71%	+1.81%
過去3ヵ月	▲1.38%	▲0.39%
過去6ヵ月	+5.94%	+4.63%
過去1年	+1.57%	+4.28%
過去3年	+33.05%	+34.28%
設定来	+26.70%	+38.72%

基準価額の推移(2012年7月末現在) [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2012年7月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	60.5%
ユーロ地域	18.9%
ユーロ除く欧州	18.0%
その他	2.7%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
VISA INC-CLASS A	USD	2.0%
Nestle SA	CHF	2.0%
Apple, Inc.	USD	1.5%
National Oilwell Varco, Inc.	USD	1.4%
Intel Corp.	USD	1.3%
Diageo PLC	GBP	1.3%
Groupe Danone	EUR	1.3%
STARWOOD HOTELS	USD	1.3%
Linde AG	EUR	1.3%
Philip Morris International Inc.	USD	1.1%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マクシリー	グロース型	15.0%
SGA	グロース型	15.0%
MFS	マーケット・オリエント型	30.0%
アローストリート	マーケット・オリエント型	25.0%
ハリス	バリュー型	15.0%

①比率は外国株式評価額合計に占める割合
②キャッシュ・エクイタイズーション(流動資金の株式化)部分等を除く。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジあり・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジあり)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+4.90%	+4.72%
過去3ヵ月	▲0.27%	▲0.80%
過去6ヵ月	+4.31%	+3.45%
過去1年	+2.38%	+1.02%
過去3年	+29.07%	+24.51%
設定来	+7.55%	▲3.39%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在) [設定日:2001年10月17日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2012年7月末現在)

■組入上位10カ国

国名	ウェイト
アメリカ	58.88%
イギリス	9.40%
カナダ	4.93%
スイス	3.94%
オーストラリア	3.83%
フランス	3.61%
ドイツ	3.23%
欧州	2.50%
スウェーデン	1.34%
香港	1.23%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
APPLE COMPUTER INC	アメリカ	2.32%
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	1.73%
MICROSOFT CORP	アメリカ	0.94%
AT&T INC	アメリカ	0.93%
GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカ	0.92%
CHEVRON CORP	アメリカ	0.91%
INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	0.91%
NESTLE SA-REG	スイス	0.84%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.80%
PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	0.75%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

(投資信託名)RIC II World Equity Fund

(運用会社)Russell Investments Limited.

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI World Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、超過収益の源泉の分散を図ります。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+0.79%	+1.26%
過去3ヵ月	▲4.62%	▲2.91%
過去6ヵ月	▲0.78%	+2.01%
過去1年	▲6.83%	▲2.20%
過去3年	+26.49%	+27.10%
設定来	+51.74%	+41.28%

※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在) [設定日:2004年6月24日]



ポートフォリオの状況

■地域別構成比率(2012年7月末現在)

地域	比率
US & Canada	49.1%
Europe ex UK	30.0%
Japan	8.2%
United Kingdom	5.5%
Emerging Markets	4.7%
Asia Pacific ex-Japan	2.5%

■株式組入上位10銘柄(2012年7月末現在)

地域	比率	業種	比率
VISA INC	米国	情報テクノロジー	1.7%
Nestle SA	スイス	生活必需品	1.6%
Linde AG	ドイツ	材料	1.4%
National Oilwell Varco Inc.	米国	エネルギー	1.2%
Apple, Inc.	米国	情報テクノロジー	1.1%
Intel Corp.	米国	情報テクノロジー	1.1%
Bayer AG	ドイツ	ヘルスクア	1.0%
Groupe Danone	フランス	生活必需品	1.0%
State Street Corp.	米国	金融	1.0%
BNP Paribas	フランス	金融	1.0%

■外部委託会社(2012年7月末現在)

運用会社	運用スタイル	資産額
Arrowstreet Capital	マーケット・オリエントド・バリュー・バイアス型	175M
Axiom	カー型	125M
Harris	バリュー型	125M
MFS Institutional Advisors	マーケット・オリエントド・カー・バイアス型	275M
SSA	カー型	150M
PMCO	マーケット・オリエントド型	150M

(出所)Russell Investments Limited.

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆マクロ分析によりグローバルな視点から成長力のある業種への重点投資を行ない、さらに国籍に関係なくその業種内で世界的なリーダーとなる企業(市場において主導的シェアを持つブランド展開力、競争上の優位性、将来を見据えた経営および優れた収益成長性等を有する企業)を発掘することにより、ベンチマークを上回る投資成果を追求します。
- ◆MSCIワールド指数(円ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとします。
- ◆運用は「ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー」に委託します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「Gグロス/海外株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+3.99%	+3.00%
過去3ヵ月	▲8.59%	▲6.66%
過去6ヵ月	+4.95%	+3.58%
過去1年	▲4.39%	▲4.08%
過去3年	+1.59%	▲1.17%
設定来	▲11.10%	▲11.65%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在)

[設定日:2001年10月2日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2012年7月末現在)

■組入上位5カ国

国名	比率
アメリカ	61.1%
フランス	6.7%
日本	4.2%
スイス	3.6%
イギリス	3.1%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	業種	比率
APPLE COMPUTER INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	5.4%
EMC CORP/MASS	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	2.5%
ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.5%
SPRINT NEXTEL CORP	アメリカドル	電気通信サービス	2.0%
AMAZON.COM INC	アメリカドル	小売	2.0%
EBAY INC	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.9%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカドル	各種金融	1.9%
GOOGLE INC-CL A	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.6%
SAFRAN SA	ユーロ	資本財	1.6%
GILEAD SCIENCES INC	アメリカドル	医薬品・バイオテクノロジー	1.6%

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定
グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の公社債を主要投資対象とし、ベンチマーク(Barclays Global Aggregate Bond Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

(出所)Russell Investments Limited.

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+1.60%	+1.16%
過去3ヵ月	+1.12%	+0.60%
過去6ヵ月	+2.41%	+0.98%
過去1年	+4.19%	+1.81%
過去3年	+26.77%	+17.97%
設定来	+173.80%	+184.76%

※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在)

[設定日:1994年9月30日]



ポートフォリオの状況

■セクター別構成比

(BM対比)
(2012年7月末現在)

セクター	比率
国債・現金	▲12.2%
政府保証債	▲2.0%
投資適格金融	▲0.8%
投資適格産業	0.1%
投資適格公益	▲0.9%
A B S	1.8%
R M B S	2.2%
C M B S	1.0%
ハイイールド社債	1.8%
エマージング債	9.0%

■格付け別構成比(BM対比)

(2012年7月末現在)

格付け	比率
AAA・現金	▲13.8%
AA	▲2.3%
A	▲0.4%
BBB	6.5%
その他	9.9%

■外部委託会社(BM対比)(2012年7月末現在)

運用会社	スタイル	目標配分
PIMCO	マルチ戦略・セクター配分重視型	26.0%
Colchester Global Investors	7加・ハルジュ重視型	28.0%
Loomis	一般債個別銘柄選択重視型	25.0%
Brookfield	セクター(資産担保証証券)特化型	8.0%
Strategic	金利・通貨配分重視型	13.0%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定
グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の公社債に分散投資します。
- ◆シティグループ世界国債インデックス(円ヘッジなし)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「FS日本債券マザーファンド」および「FS海外高格付け債マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)アパディーン投信投資顧問株式会社

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲0.37%	▲1.18%
過去3ヵ月	▲3.43%	▲2.23%
過去6ヵ月	+1.51%	+2.33%
過去1年	+0.21%	+2.53%
過去3年	▲7.14%	▲4.84%
設定来	+13.85%	+25.94%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在)

[設定日:2002年8月1日]



ポートフォリオの状況(2012年7月末現在)

■国別構成比率
上位5カ国

国	比率
日本	29.35%
アメリカ	23.81%
イギリス	8.63%
フランス	6.62%
ドイツ	6.29%

■通貨別構成比率
上位5通貨

通貨	比率
日本円	29.35%
ユーロ	28.23%
米ドル	26.97%
英ポンド	6.28%
カナダドル	1.69%

※各比率は、各マザーファンドにおける純資産比と当ファンドが保有するマザーファンドの比率から算出しています。

■債券組入上位10銘柄

銘柄	通貨	償還日	クーポン	格付け	比率
アメリカ国債	USD	2016/11/30	2.750%	AAA	8.30%
アメリカ国債	USD	2020/02/15	3.625%	AAA	5.08%
日本国債	JPY	2014/06/20	1.600%	AA-	4.42%
アメリカ国債	USD	2015/01/31	2.250%	AAA	3.45%
日本国債	JPY	2018/09/20	2.300%	AA-	3.30%
日本国債	JPY	2017/06/20	1.900%	AA-	2.78%
日本国債	JPY	2015/06/20	1.300%	AA-	2.76%
日本国債	JPY	2017/03/20	1.700%	AA-	2.64%
日本国債	JPY	2025/06/20	2.100%	AA-	2.59%
ドイツ国債	EUR	2016/01/04	3.500%	AAA	2.31%

(投資信託名)ラッセル日本債券ファンドI-1

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+0.32%	+0.37%
過去3ヵ月	+0.64%	+0.90%
過去6ヵ月	+1.28%	+1.59%
過去1年	+2.55%	+2.88%
過去3年	+8.67%	+7.88%
設定来	+14.64%	+17.11%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在)

[設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2012年7月末現在)

■種別構成比

種類	比率
国債	69.4%
地方債	0.0%
政保債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	27.1%
円建外債	0.0%
MBS	0.0%
ABS	0.0%
その他	3.5%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
りそな	広範囲型	50%
DIAM	広範囲型	50%

※比率および目標配分はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型特別勘定

ファンドの特色等

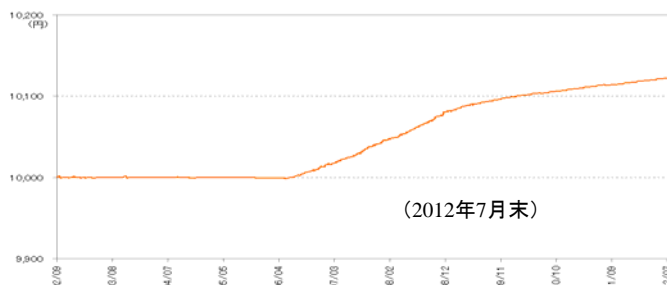
- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・マネー・プール・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2012年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+0.01%
過去3ヵ月	+0.02%
過去6ヵ月	+0.04%
過去1年	+0.09%
過去3年	+0.30%
設定来	+1.22%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2012年7月末現在)【設定日:2002年9月20日】



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■ポートフォリオ・プロフィール
(2012年6月末現在)

平均残存日数	44.44日
平均残存年数	0.12年

■格付別構成比
(2012年6月末現在)

	格付	比率
長期債券 格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	97.4%
	A	-
短期債券 格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他		2.6%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■債券組入上位10銘柄(2012年6月末現在)

銘柄	格付	比率
第281回 国庫短期証券 2012/08/20	AA/Aa	14.3%
第276回 国庫短期証券 2012/07/30	AA/Aa	11.5%
第283回 国庫短期証券 2012/08/27	AA/Aa	11.5%
第284回 国庫短期証券 2012/09/03	AA/Aa	11.5%
第279回 国庫短期証券 2012/08/13	AA/Aa	8.6%
第286回 国庫短期証券 2012/09/10	AA/Aa	8.6%
第269回 国庫短期証券 2012/07/02	AA/Aa	5.7%
第270回 国庫短期証券 2012/07/09	AA/Aa	5.7%
第273回 国庫短期証券 2012/07/17	AA/Aa	5.7%
第275回 国庫短期証券 2012/07/23	AA/Aa	5.7%

(出所)フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

4. 投資している投資信託の運用会社のご紹介

アバディーン投信投資顧問株式会社

アバディーン・アセット・マネジメント・グループは、英国スコットランドのアバディーンに設立され世界23カ国30カ所に拠点を置き、資産運用に特化したグローバルな独立系資産運用会社です。上場する運用会社としては英国最大級の運用規模を誇っています。1983年の会社設立以降、独立系資産運用会社として主要金融機関の傘下に入ることなく、資産運用に特化した事業を展開し、順調な拡大を遂げています。独自の調査・分析および判断に基づいた運用を基本とし、世界の市場を網羅した効率的で地域に根ざした運用体制を構築しています。チーム運用重視、明確な運用プロセス、フラットな組織のもと、長期的視野に立った運用を行っています。

アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン株式会社は、フランス共和国パリに本拠を置くアムンディ・グループの日本拠点で、グループ中核会社であるアムンディの100%子会社です。アムンディは、2009年12月31日に欧州有数の銀行グループであるクレディ・アグリコル、ソシエテ ジェネラル、グループ双方の資産運用会社を統合して設立されました。日本では、2010年7月1日付けでクレディ・アグリコル アセットマネジメント株式会社とソシエテ ジェネラル アセット マネジメント株式会社が合併し、当社が発足しました。

アムンディは、世界の主要な金融市場である欧州(パリ、ロンドン、ミラノ)、アジア(日本、香港、シンガポール)、オーストラリア、米国に拠点を置く、グローバルな運用会社です。またビジネスを展開する拠点において強いプレゼンスを有し、お客様と密接で長期的な視野に立った関係の構築を常に心掛けています。

新光投信株式会社

当社は、ともに1961年に創立した新和光投信委託株式会社と太陽投信委託株式会社の合併により誕生した、国内でも有数の歴史を持つ資産運用会社です。2000年4月の合併以来、「魅力ある商品開発」「優れた運用成果」「質の高いサービスの提供」を経営理念とし、資産運用を行う専門家として、投資家のみなさまから信用されるべく、業務に邁進して参りました。

「資産形成のより良きパートナー」をモットーとして、投資家のみなさまからご満足いただける運用成果を目指すとともに、信頼されるサービスのご提供に全社一丸となって取り組んでいく所存です。

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセットマネジメント株式会社は、1959年の設立以来、半世紀にわたって、わが国をリードする資産運用会社として、投資家のみなさまに多様な金融商品を提供しています。

主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する仕組みを確立し、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。アジア戦略の一環として、豪・NZのティンダル、シンガポールのDBS AMを買収し、アジアを代表する資産運用会社へのさらなる発展を目指しています。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

フィデリティ投信株式会社

委託会社であるフィデリティ投信株式会社は、FIL Limitedの実質的な子会社です。FIL Limitedは、1969年に設立され、世界の主要な拠点(北米を除く)において個人投資家と機関投資家を対象に投資商品ならびにサービスを提供しています。

ラッセル・インベストメント・グループ

ラッセル・インベストメント グループは、年金、金融機関および個人など様々な投資者の皆様を対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っております。当グループの創立は1936年。米国ワシントン州シアトルを本拠地とし、米国の大手生命保険相互会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーの子会社です。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

この資料は、特別勘定の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

【お問い合わせ先】